

第27回アジア太平洋地域（APR）スカウト会議

日本代表団概要報告（2022. 3. 02. 現在）



27th Asia-Pacific Regional
Scout Conference
15-21 February 2022

会議名： 第27回アジア太平洋地域（APR）スカウト会議

主催： 世界スカウト機構アジア太平洋地域（APR）

期間： 2022年2月15日（火）～2月21日（月）

*2月17日・20日を除く5日間

場所： オンライン開催

*当初、2021年9月に台湾で開催が予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、APR各国スカウト連盟による電子投票で2022年2月の開催に延期された。その後、新型コロナウイルスの影響が収まらないことから、台湾連盟からの申し出により、オンラインでの開催に変更された。

テーマ： Adapting to a Changing World（変化する世界への適応）

参加費： 無料

日本代表団： 代表6人、オブザーバー11人、職を持って参加した者3人、合計20人

<代表6人>

1. 水野 正人 日本連盟理事長（首席代表）
2. 福嶋 正己 日本連盟コミッショナー
3. 出田 行徳 常務理事（次期 APR Governance Sub-Committee 候補者）
4. 中野 まり 国際副コミッショナー
（嶋田国際コミッショナー・松平国際副コミッショナーはAPRの立場で参加）
5. 小林 千乃 青年代表（第10回APRスカウトフォーラム日本代表団代表）
6. 大久保秀人 事務局長（次期 APR Educational Methods Sub-Committee 候補者）

<オブザーバー最大14人>

7. 佐野 友保 専務理事
8. 膳師 功 常務理事
9. 笹渕 真子 理事・国際委員長
10. 片寄 明 千葉県連盟コミッショナー（次期 APR Youth Engagement Sub-Com 候補者）
11. 小池さくら（第10回APRスカウトフォーラム日本代表団代表）
12. 北村 梨沙（第10回APRスカウトフォーラム日本代表団オブザーバー）
13. 大竹 晴登（第10回APRスカウトフォーラム日本代表団オブザーバー）
14. 吉村 敏 事務局次長
15. 佐藤 栄保 事務局長付
16. 吉田 克己 事務局コミッショナー・国際担当
17. 大高 駿 事務局国際業務他担当

<APRの職をもって参加した者>

18. 嶋田 寛 APRスカウト委員会第一副委員長
19. 松平 頼昌 APRコミュニケーション・パートナーシップ小委員会委員長
（次期 APR Social Impact Sub-Committee 候補者）
20. 村山 正 APR財団運営委員（次期継続候補者）

この他、鈴木令子 相談役がAPR表彰委員として表彰式等に出席した

参加者数： APR内30の国と地域の連盟から550人以上

国名の次の（ ）内は代表の人数・オブザーバー人数は除く

アフガニスタン(6)、オーストラリア(6)、バングラデシュ(6)、ブータン(6)、ブルネイダルサラム(6)、カンボジア(5)、台湾(5)、フィジー(4)、香港(6)、インド(5)、インドネシア(6)、日本(6)、キリバス(6)、韓国(6)、マカオ(6)、マレーシア(6)、モルジブ(6)、モンゴル(6)、ミャンマー(6)、ネパール(6)、ニュージーランド(6)、パキスタン(6)、パプアニューギニア(6)、フィリピン(6)、シンガポール(6)、ソロモン諸島(6)、スリランカ(5)、タイ(5)、東ティモール(6)、ベトナム(6)

日程表：

第27回APRスカウト会議 27th ASIA-PACIFIC REGIONAL SCOUT CONFERENCE
2022年2月15日～21日 15-21 February 2022
会議日程・プログラム CONFERENCE PROGRAM

日本時間 TIME	2月15日(火) 15 February Tuesday	2月16日(水) 16 February Wednesday	2月17日 17 Feb. Thursday	2月18日(金) 18 February Friday	2月19日(土) 19 February Saturday	2月20日 20 Feb. Sunday	2月21日(月) 21 February Monday
13:00H to 14:30H	<ul style="list-style-type: none"> 各国連盟首席代表とAPRスカウト委員の会議 APRSC meeting with Heads of Delegates 	<ul style="list-style-type: none"> 能力開発 Capacity Building (inputs) <ul style="list-style-type: none"> WOSMデータ・ポータル セーフ・フロム・ハーム WOSMサービス APRスカウトバザール 	会議	<ul style="list-style-type: none"> 各国スカウト連盟のプレゼンテーション (複数国連盟の成功事例) 	<ul style="list-style-type: none"> 新APRスカウト委員会の第1回公式会合 (新APR小委員会委員の任命) 各国スカウト連盟のプレゼンテーション (複数国連盟の成功事例) 	会議	<ul style="list-style-type: none"> 新任期APR各小委員会会合 会議決議のプレゼンテーションと協議
14:30H-15:00H	休憩 Break			休憩 Break	休憩 Break		休憩 Break
15:00H to 16:30H	<ul style="list-style-type: none"> 開会式 Opening Ceremony <ul style="list-style-type: none"> Intro of NSO's and Guests Virtual Photo session 全体会 Preliminary Session <ul style="list-style-type: none"> APR委員長歓迎の挨拶 会議規則諸手続き 	<ul style="list-style-type: none"> 世界スカウト機構事務総長挨拶 世界スカウト委員長挨拶 APRスカウト財団会長報告 10APRスカウトフォーラム報告 APR CLT報告 APRスカウト委員選挙 	休日	<ul style="list-style-type: none"> 新任期APRスカウト委員会誕生 パートナー組織のプレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> Duke of Edinburgh Eric Frank HOT-AP KISC Suncheon WAGGGS WSF 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の地域スカウト行事のプレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> 28th APR Scout Conference 今後の地域スカウト行事投票 今後の地域・世界行事プレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> 32nd APR Scout Jamboree, Bangladesh, 2022 33rd APR Scout Jamboree, Korea, 2025 25th World Scout Jamboree, Korea, 2023 17th World Scout Moot, Portugal, 2025 43rd World Scout Conference, Egypt, 2024 	休日	<ul style="list-style-type: none"> 新APRスカウト委員会委員長のチャレンジ 会議決議の採択
16:30H-16:45H	休憩 Break			休憩 Break	休憩 Break		休憩 Break
16:45H to 17:45H	<ul style="list-style-type: none"> 会議任命 APR委員候補者紹介 基調演説 APRスカウト委員長報告 	<ul style="list-style-type: none"> アクションタイム プレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> COVID-19サービス活動 成長を続けるスカウト活動：人材確保と採用のベスト・プラクティス GSAT WOSMサービス 事業開発とパートナーシップ 	休日	<ul style="list-style-type: none"> 分科会 Breakout Groups <ul style="list-style-type: none"> APR Plan Growing our movement in the post-pandemic world Building Financial Capability GSAT – bring your NSO to world class standards Sustainability (taskforce World) Youth Engagement in decision making (taskforce work) Reaching out Advocacy for growth, positioning and influence Safe from Harm compliance 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の地域スカウト行事投票結果発表 新任期APR小委員会のアナウンス 会議決議のプレゼンテーション 	休日	<ul style="list-style-type: none"> 特別表彰 Special Recognition Ceremony 会議評価 閉会式 Closing Ceremony
17:45-18:00H	休憩 Break			休憩 Break	休憩 Break		休憩 Break
18:00H to 19:00H	<ul style="list-style-type: none"> APR事務局長3年間報告 APR監事報告 	<ul style="list-style-type: none"> APRスカウト委員の選挙結果発表 	休日	<ul style="list-style-type: none"> 国際コミッショナー会合 チーフコミッショナー会合 Global Sc Com. Network APR Palaver 	<ul style="list-style-type: none"> ATAS会合 APES会合 	休日	<ul style="list-style-type: none"> 国際の夕 Cultural/International Evening
19:00H-19:30H	休憩 Break			休憩 Break	休憩 Break		休憩 Break
19:30H 20:30H	<ul style="list-style-type: none"> APRスカウト財団フェロウシップ集會 		休日	<ul style="list-style-type: none"> ATAS会合 APES会合 	<ul style="list-style-type: none"> ATAS会合 APES会合 	休日	<ul style="list-style-type: none"> 国際の夕 Cultural/International Evening
21:00H 22:30H	<ul style="list-style-type: none"> APRスカウト財団フェロウシップ集會 			<ul style="list-style-type: none"> ATAS会合 APES会合 	<ul style="list-style-type: none"> ATAS会合 APES会合 		<ul style="list-style-type: none"> ATAS会合 APES会合

- 主要日程：2月15日(火) 各国連盟首席代表会議・開会式・
2月16日(水) 全体会議・APR委員選挙・APRスカウト財団会合
2月18日(金) 分科会・パートナー組織等の説明・国際・チーフコミッショナー会合
2月19日(土) 全体会議、次回会議選挙、今後の行事
2月21日(月) 会議決議・表彰式・閉会式

日本代表団の準備：

会議に先立ち、2月2日(水)に日本代表団の打ち合わせをオンラインで行い、各決議案への賛否、APRスカウト委員選挙等について、対応を検討した。
会議参加者全員にWOSMセーフ・フロム・ハームのeラーニングを事前に2コース履修することが求められ、日本代表団は全員修了した。
会議期間中には、日本代表団の連絡用オンライン会議を設定し、投票にあたって水野首席代表より説明と確認があり、日本連盟としての対応を行った。

会議の概要と日本代表団の取り組み

(記載の時間は日本時間)

1. 各国連盟首席代表会議

2月15日(火) 13時から14時30分までの1時間30分、APRスカウト委員会と各国首席代表による会議が開催され、会議日程、議題等の確認が行われた。

日本連盟からは、水野理事長(首席代表)と事務局1人が出席した。また、主催者として嶋田APRスカウト委員会第一副委員長が出席した。

2. 開会式

2月15日(火) 15時から16時まで、開会式が行われ、主催者としてのAPRスカウト委員会、各小委員会委員長、世界スカウト委員長と関係委員、WOSM事務総長と各地域事務局長、APRスタッフ、ゲストの紹介の後に、参加国連盟の紹介が行われた。出席者は、APR内の30の国と地域の連盟から550人以上とのアナウンスがあった。

3. 会議開催の手続き(準備セッション)

2月15日(火) 16時から16時30分まで、準備セッションとして、物故者への黙祷、会議手続き規則の確認、会議関係者の任命APR委員候補者9人の紹介が行われた。

4. APR3年次報告

2月15日(火) 16時30分から17時45分まで、2018年から2021年までの3カ年報告がAPRスカウト委員会のラスディ委員長、嶋田第一副委員長、ソンプーン第二副委員長より行われた。続いて、APR監事報告が行われた。

5. 各種報告・挨拶

2月16日(水) 15時から16時05分まで、世界スカウト機構事務総長委、世界スカウト委員会委員長の報告があり、続いてAPRスカウト財団運営委員長の報告、第10回APRスカウトユースフォーラムとAPR・CLTの報告があった。

6. アクションタイム・プレゼンテーション

2月16日(水) 16時45分から17時55分まで、コロナ禍におけるサービス、加盟員維持と募集拡大事例、GSAT、WOSMサービスに関するビデオによるプレゼンテーションが行われた。

7. APRスカウト委員半数改選

2月16日(水) 16時05分から、任期を2022年から2028年までの6年間とする委員5人の選挙が行われた。立候補者は、ブータン、台湾、インド、インドネシア、韓国、マレーシア、モルジブ、モンゴル、ネパールからの9人で各国連盟の代表により電子投票が行われた。当初立候補していたシンガポールの候補者は選挙前に辞退した。選挙結果は、次の5人が新委員に決定した。

1. Mr Yung-Chin Yang - 台湾
2. Mr Brata Tryana Harjosubroto - インドネシア
3. Mr Simon Hang-Bock Rhee - 韓国
4. Mr Mohd Zin Bidin - マレーシア
5. Ms Aishath Ahlam - モルジブ

8. 新APRスカウト委員会の編成

委員改選に伴い新委員5人に2018年から2025年までの任期の委員5人、更にAPR・RYR代表1名を加え、11人で編成され、委員の互選で委員長、副委員長が選任された。(発表は2月18日)

< 2022年～2025年 APRスカウト委員会 >

委員長	Mr. Dale B. Corvera, Philippines (委員任期：2018-2024)
第一副委員長	Mr Simon Hang-Bock Rhee, Korea (委員任期：2022-2028)
第二副委員長	Dr. Somboon Bunyasiri Thailand (委員任期：2018-2024)
委員	Mr. Hiroshi Shimada, Japan (委員任期：2018-2024)
委員	Mr. Elston Hynd, Australia (委員任期：2018-2024)
委員	Mr. Mohammad Rafiqul Islam Khan, Bangladesh (委員任期：2018-2024)
委員	Mr Yung-Chin Yang, Taiwan (委員任期：2022-2028)
委員	Mr Brata Tryana Harjosubroto, Indonesia (委員任期：2022-2028)
委員	Mr Mohd Zin Bidin, Malaysia (委員任期：2022-2028)
委員	Ms Aishath Ahlam, Maldives (委員任期：2022-2028)

9. APR各小委員会等

新APRスカウト委員会による協議に基づき、各小委員会の委員長、副委員長、委員が発表された。日本からは次の4人が小委員会委員に選任された。(発表は2月19日)

ソーシャル・インパクト小委員会	委員長 松平 頼昌 (国際副コミッショナー)
ユース・エンゲージメント小委員会	委員 片寄 朗 (千葉県連盟コミッショナー)
エデュケーション・メソッド小委員会	委員 大久保秀人 (事務局長)
ガバナンス小委員会	委員 出田 行徳 (常務理事)

ダイバーシティ・インクルージョン小委員会、コミュニケーション&パートナーシップ小委員会には、日本連盟から委員候補者の推薦は行わなかった。

10. 分科会 (Break Out Groups)

2月18日(金) 16時45分から19時30分まで、次の11テーマ別に2枠の分科会が行われ、日本代表団は次のとおり参加した。(参加者名の敬称略)

- (1) APR計画 2022-2025A (福嶋、大久保、大高)
- (2) APR計画 2022-2025B (福嶋、大久保、大高)
- (3) 財務能力の構築 (吉村、吉田)
- (4) WOSMサービス (中野、松平、佐藤)
- (5) パンデミック後の世界における私たちの運動の拡大 (吉村、大竹、松平)
- (6) GSAT-あなたの国のスカウト連盟を世界標準に (出田、小池)
- (7) 持続可能性 (水野、北村、佐藤)
- (8) 意思決定への青年の関与 (片寄、小林、小池)
- (9) 手を差し伸べる (片寄、北村)
- (10) 加盟員拡大、位置づけ、影響力のアドボカシー (中野、小林、吉田)
- (11) セーフ・フロム・ハームの遵守 (水野、出田、大竹)

11. 他団体・関係組織の活動紹介

2月18日(金) 15時40分から16時30分まで、ビデオによりエジンバラ国際アワード、エリックフランク・トラスト、オープンマッピングハブ、KISC、スンチョンスカウトセンター、世界スカウト財団の活動紹介が行われた。

12. 各国スカウト連盟のベストプラクティス紹介

2月18日(金)と19日(土)の13時から各1時間、ビデオにより各国スカウト連盟の最良成功

事例紹介が行われた。18日は、オーストラリア、バングラデシュ、台湾、香港、インド、19日にはインドネシア、日本、ニュージーランド、フィリピン、スリランカ、タイの順で各5分上映された。

日本連盟は、澤 社会連携・広報委員長による「ワクワク自然体験あそび」のビデオで紹介した。

1.3. 今後のAPRおよび世界行事の紹介

2月19日（土）に今後のAPRおよび世界行事のプレゼンテーションが行われた。

- 第32回APRスカウトジャンボリー（2022年バングラデシュ）
- 第25回世界スカウトジャンボリー（2023年韓国）
- 第43回世界スカウト会議（2024年エジプト）
- 第17回世界スカウトムート（2025年ポルトガル）

1.4. 今後のAPR行事招致

2月19日（土）に今後のAPR行事招致として、2025年開催の第28回APRスカウト会議と関連行事のプレゼンテーションが行われた。当初は3カ国連盟が立候補していたが、今回の台湾で予定されていた会議と関連行事がオンラインに変更されたことを考慮し、2カ国が立候補を辞退し、台湾のみの立候補となり、信任投票の結果、台湾での開催が決定した。

<台湾連盟の提案>

- ① 第28回APRスカウト会議
提案期間 2025年10月27日～11月1日
- ② 第11回APRスカウトユースフォーラム
提案期間 2025年10月23日～26日
- ③ APRコースフォーリーダーートレーナー
提案期間 2025年10月20日～26日

1.5. APR規約改正

2月19日（土）16時からAPR規約改正案の説明があり、APR各委員会への青年の関与と、Y AMGがRYRに変更となったことに伴う改正が投票の結果承認された。

1.6. 会議決議

最終日の2月21日（月）に各国スカウト連盟とAPRスカウト委員会、APRフォーラム等から提出された決議案について決議起草委員により説明があり、各国連盟代表団による協議が行われた。

決議は、今回の会議開催・運営への協力者に対する「感謝決議」、および「実務決議」が採択された。（決議文は7ページ以降を参照）

1.7. 表彰式

最終日の2月21日（月）にAPR表彰の表彰式が行われ、日本連盟は次の4人が受章した。

APR特別功労章(APR Award for Distinguished Service)

中野まり 国際副コミッショナー

(元世界スカウト委員、WOSMコンサルタント、世界名誉表彰委員会委員長)

APR委員長章(APR Chairman's Award)

松平頼昌 国際副コミッショナー

(APRコミュニケーション・パートナーシップ小委員会委員長)

APR 功勞表彰 (APR Certificate of Good Service)

近藤明彦 元APRスカウティングプロファイル小委員会委員、マネージメント小委員会委員
片寄 朗 元APRアダルトインスカウティング小委員会委員

18. 閉会式

2月21日(土) 19時30分から、APRスカウト委員会の新旧委員長の挨拶、APR地域事務局長の挨拶で閉会した。

19. 会議期間中の諸行事(全てオンライン開催)

会議期間中に次の会合が19時30分から開催され、日本代表団からは関係者が出席した。

- (1) APRスカウト財団ギャザリング 2月16日 (APR財団会員)
- (2) 国際コミッショナー会合 2月18日 (嶋田国際コミッショナー)
- (3) チーフコミッショナー会合 2月18日 (福嶋日本連盟コミッショナー)
- (4) APRパラバー 2月18日 (中野国際副コミッショナー)
- (5) ATAS会合
- (6) APES会合

20. 会議前に開催された関連行事への参加(全てオンライン開催)

- (1) 第5回APR各国スカウト連盟事務局長会議

1月23日(日)から1月24日(月)まで、APR委員会の運営により、APR各国スカウト連盟事務局長会議が20スカウト連盟の事務局長が参加して開催され、日本連盟からは大久保事務局長が参加した。会議では、加盟員拡大、教育手法、コミュニケーションとパートナーシップ、WOSMサービス、APR新3カ年計画等に関する情報共有と意見交換が行われた。

- (2) APRコース・フォー・リーダートレーナー (CLT)

2月4日(金)から2月13日(日)まで(2月7日・11日を除く)8日間開催され、日本連盟からは大久保事務局長がAPRアダルトインスカウティング小委員会委員としてスタッフで参加した。

- (3) 第10回APRスカウトユースフォーラム

2月9日(水)から2月13日(日)まで(2月11日を除く)4日間開催され、APR内25スカウト連盟から186人(代表50人、オブザーバー136人)が参加し、日本連盟からは今回の会議に参加した4人の青年参加者が代表(小林・小池)とオブザーバー(大竹・北村)として参加した。

21. その他

- (1) 世界スカウト委員との会合

会議初日の2月15日(火) 19時30分から約1時間、世界スカウト委員と日本代表団との会合が行われ、水野首席代表から新型コロナウイルス感染拡大の中での対応、ワクワク自然体験あそび、セーフ・フロム・ハーム、日本連盟100周年等について説明を行った。

以 上

第27回アジア太平洋地域（APR）スカウト会議
2022年2月15日～21日
会議決議

(2022.3.02. 現在仮訳)

01/22 感謝決議

2022年2月15日から21日にフィリピンのリサールからオンラインで開催された第27回APRスカウト会議の成功は、以下の方々の貴重な貢献と支援によるものであり、感謝とお礼を申し上げます。

- 1.1/22 APRスカウト委員会、およびその議長H.E. アーマド・ラスディを始め退任する5人のメンバーは、会議のセッションとイベントの設計、企画、運営において指導を行った。
- 1.2/22 会議セッションに積極的に参加し、ベストプラクティスやアクションタイムのプレゼンテーションを共有し、分科会に参加し、会議の集会で親善と友好の精神を共有した代表団とオブザーバーの方々。
- 1.3/22 「第10回APRユースフォーラム」(バーチャル)のオープンな意見交換と実りある議論を行った企画チーム、オーガナイザー、リソースパーソン、参加者の皆さん。
- 1.4/22 「コース・フォー・リーダートレーナー」(バーチャル)の企画チーム、主催者、リソースパーソン、参加者、研修チーム、スタッフ、セッションの成功に向けた献身的な支援とサービス。
- 1.5/22 APR各小委員会は、3年間に提示されたタスクの達成に時間、専門知識、およびリソースを費やしてくれたこと。
- 1.6/22 Andy Chapman氏率いる世界スカウト委員会は、世界のスカウト運動のビジョン、価値観、団結を強化する刺激的なメッセージを発信してくれた。
- 1.7/22 WOSM事務総長 Ahmad Alhendawi氏、世界スカウト事務局グローバルサポートセンターと全地域サポートセンターのスタッフ、会議の前後での様々な打合せでの指導、積極的な参加、貢献してくれた。
- 1.8/22 J. Rizal C Pangilinan APR事務局長、および世界スカウト事務局APRサポートセンターのスタッフの会議の準備、調整、運営における努力、献身、熱意。
- 1.9/22 私たちのパートナー団体とゲスト、エジンバラ公国際アワード、エリック・フランク・トラスト、オープンマップ・ハブ - アジア・パシフィック、カンダーシュテーク国際スカウトセンター、シンチョンAPRスカウトセンター、世界スカウト財団。
- 1.10/22 小委員会審査委員会、決議委員会、選挙立会人など、本大会の任命権者は、大会決議を通じ、システムを整備し、新しい3年間で有望なことを確認すべく、特別な時間と労力を注いでくれた。2022-2025年の小委員会審査委員会には、地域別小委員会におけるバランスの取れたメンバー構成を確保するために、たゆまぬ努力を続けていただき、特に感謝申し上げます。
- 1.11/22 会議の流れや進行を指導した会議役員、司会者、議長には、貴重な才能、時間、熱意、エネルギーを発揮していただき、会議のバーチャルへの移行と配信をさらに魅力的で若者に適したものにすることができた。
- 1.12/22 国際コミッショナー会合、チーフコミッショナー会合、APR座談会、世界スカウト・コミュニケーション・ネットワーク、APRスカウト財団会合、文化・国際の夕べ、ATAS会合、APES会合の主催者及び参加者の方々。
- 1.13/22 「セーフ・フロム・ハーム」ボランティアは、世界中の若者のためにスカウトを安全に保つための包括的なプレゼンテーションを行い、セッション中にオンラインチャットで代表やオブザーバーから寄せられたすべての質問に辛抱強く答えてくれた。
- 1.14/22 フィリピン連盟理事、連盟スタッフ、連盟スカウト、ボランティアの方々には、大会期間中、計り知れないほどのご支援、積極的なご協力、ご出席をいただいた。

- 1.15/22 制作チームには、時間、労力、専門知識、スキルを駆使してコーディネートしていただいた。音声、映像、ライブストリーミングなど、様々な面でサポートさせていただいた。Facebook や YouTube、現場でのプレゼンテーション、ズームアップなどをシームレスに行うことができた。彼らの存在により、このバーチャル会議は、世界中のスカウトに届くようになった。
- 1.16/22 The JM's Place のスタッフは、美味しい食事、完璧な設備を準備し、組織チーム、サポートスタッフ、制作チームの滞在を快適なものにしてくれた。

実 務 決 議

02/22 各国連盟の青少年の関与に関する方針の開発、見直し、改良に関する支援

スカウト会議は、

- 青少年の関与を教育方法の中核的構成要素として認識し、
 - 青少年の関与の効果的な実施の方向性を示す「青少年の関与に関する世界戦略」と「青少年の参画に関する世界方針」を参照し、
 - すべての年齢層と意思決定機関に対する明確な組織、ツール、プロセス、目的、および指標を含む青少年参加に関する各国連盟方針の数を増やすこと。
- APRスカウト委員会は、各国連盟が青少年加盟員のニーズに対応できるような各国連盟青少年の関与に関する戦略を地域化、開発、あるいは適切な場合には見直し、改良することへの支援を要請する。
 - 前述の「各国連盟の青少年の関与に関する戦略」は以下のようなものであることを推奨する。
 1. 「各国連盟の青少年プログラム方針」、「各国連盟のスカウティングにおける成人に関する方針」および、各国連盟の委員会およびガバナンス組織の職務権限/規程上の要件と密接に関連させ；
 2. 「青少年の参画に関する世界方針」と「青少年の関与に関する世界戦略」を参考に、各年齢層での「青少年の参画」「青少年の参加」「青少年の能力強化」の概念を定義し、詳細に明文化し；
 3. 隊、地区、地域、国連盟レベルにおいて、あらゆる年齢の若者のための学習の機会を特定し；
 4. 青少年の貢献と成果を認め；
 5. 委員会や統治機関を含む意思決定機関において、若者の代表を増やし；そして、
 6. 少なくとも2年に1度は実施の監視と評価をすること。

これは、2022-2025年の3カ年の終わりまでに実施する必要がある。

03/22 各国連盟の重要な意思決定機関に関わる若年成人代表の確保

スカウト会議は、

- 世代間の協力と、意思決定への有意義な青少年の参加の重要性を認識し、
 - スカウティングのあらゆるレベルの意思決定機関に、より多くの若者を参加させることにより、若者の参画を増やすという目標を強調した「青少年の関与に関する世界戦略」を認識し、
 - 地域の青少年の関与に関する目標を青少年の関与に関する世界戦略と一致させることの重要性を信じ、
 - 意思決定への青少年の関与を促進し続けるため、組織的な後押しが必要であることを認識し、
 - APR計画 2018-2021において、各国連盟組織、教育法委員会や青少年プログラム委員会の意思決定プロセスに30歳未満の青少年を参加させることを再確認すること。
- 世界スカウト機構の主要目標 3.4 「WOSMと運営構成加盟国連盟、地域、世界レベルの主要な意思決

定組織に少なくとも40%の青少年代表を確保するための基準を高め、彼らの完全な参画を支援する」にある「青少年の関与に関する戦略」の文章を採用し、:

- APRスカウト委員会は、青少年層が意思決定プロセスに積極的に参加できるよう、各国連盟の意思決定組織の40%または最低2名のメンバーが30歳未満であることを保証するよう各国連盟を支援することを要請する。また、そのようなグループの全メンバーは、平等に投票権と意思決定権を持つことが望ましい。
- APRサポートセンターとAPRスカウト委員会からの支援は、この目標に向かって前進する準備がAPR各国連盟で様々なため、世代間対話トレーニング、ワークショップ、成功事例共有セッション、セミナーなどを開催することを推奨する。

これは、2022-2025年の3カ年の終わりまでに実施する必要がある。

04/22 APRにおける環境・社会・経済の持続可能性の促進に関する施策

スカウト会議は、

- 第42回世界スカウト会議決議第2021-08号に、「世界スカウト委員会と世界スカウト事務局に対し、次期スカウト戦略策定時にSDGsで示された環境の持続可能性を重要な構成要素として設定し、スカウティングの次期戦略開発の際、自然保護活動を強化することで、地域社会が気候災害からより強くなり、私たちが環境に与える影響を補うことができる」ことを含んでいることを認識し、
- 第42回世界スカウト会議決議第2021-08号「スカウト会議は、加盟団体に対し、アーストライブおよびその他の世界的および各国連盟主導の環境保護教育を、各国連盟のプログラムに一層統合されるよう要請する。」が含まれることを確認し、
- APRスカウト委員会に対し、APR計画2022-2025に示された「目標」等を通じて、SDGsに示される環境持続性、社会・経済問題への取り組みを重要な枠組みとして継続するよう要請し、
- APRスカウト委員会に対し、「メッセンジャー・オブ・ピース」や「スカウティング・フォー・SDGs」といった取り組みを通じ、国レベルでの自然保護活動の強化を支援するよう要請し、
- APRスカウト委員会に対し、地球温暖化や気候変動と戦うために「アーストライブ」の活動やその他の環境教育プログラムを地域に根付かせることを強く要請し、
- APRサポートセンターが、WOSMを通じ各国連盟が「アーストライブ」主導や各国連盟環境プログラムを取り入れ、ローカライズするよう支援サービスの提供を要請する。

05/22 「地域と各国連盟における有意義な青少年参加への障壁の特定に関する報告書」の作成

スカウト会議は、

- 第42回世界スカウト会議決議第2021-07号「ユース・アドバイザー制度と青少年の意思決定への参画」と題する決議を想起し、
- 「青少年の関与に関する世界戦略」の項目5.1.2と5.3.1には、次のように記載されていることを認識する。

“5.1.2 スカウト方式とユース・エンゲージメントの全要素の適用を強化するため、各国連盟青少年プログラムの内容の見直しと設計を支援し”:

“5.3.1 スカウト運動内およびスカウト活動外の意思決定における青少年の関与の増加への潜在的な貢献を強化する目的で、あらゆるレベルの既存の組織、構造、仕組みなどのすべてを見直し、”
- 地域における青少年の関与のさらなる必要性を認識し、
- APRスカウト委員会とAPRサポートセンターに対し、APRの加盟各国を対象とした調査を実施し、各国連盟内で世代間の対話と議論を行い、青少年参加に対する制度的、構造的、文化的障壁とその解決策を調査することを要請し:

- A P Rスカウト委員会に対し、地域レベルおよび国家レベルで若者の参加を促進するために利用可能な機会を特定し、報告書の調査結果に基づいて有意義な若者の参加を増やすためにこれらのレベルで起こすことができる行動を推奨するよう要請し：
- A P Rスカウト委員会に対し、A P Rの加盟各国が若者の能力強化と意思決定への参画のために 適用可能な実践的モデルやガイドラインを提言するよう要請し：
- A P Rスカウト委員会に対し、各国連盟内で行われた調査や議論の結果をまとめた報告書を作成すること、また、あらゆるレベルにおいて有意義な青少年の参加を促進するために地域や国レベルで起こすことのできる推奨行動を作成することを要請すること。この報告書は、第28回A P Rスカウト会議の開催前にA P Rサポートセンターによって作成されるものとする。

06/22 青少年および成人向けプログラムへのメンタルヘルスへの意識啓蒙の導入

スカウト会議は、

- スカウトがノンフォーマル教育を通じて若者の精神的成長を促進する運動であることを考慮し、
- 成人が青少年を支援する役割を担っていることを認識し、
- COVID-19の大流行によって精神衛生上の問題が悪化していることを認識し、
- 青少年に精神衛生に関する意識を教育し、認証制度を含め、心理的応急処置のスキルを身につけさせることの重要性を認識し、
- メンタルヘルスプログラムのための、より信頼性が高く適切な授業計画のため、専門のメンタルヘルス組織とのパートナーシップが推奨されることに留意し、
- 世界3カ年計画2021-2024の教育手法の戦略的優先事項である「青少年、スカウティングにおける成人、地域社会の回復力、幸福、心の健康を育むため、各国連盟に促進するガイドラインを提供し、私たちの全体的優先事項であるセーフ・フロム・ハームと関連づける」に含まれる文章を採用し：
- 各国スカウト組織が、「各国連盟青少年プログラム方針」と「各国連盟スカウティングにおける成人に関する方針」に加え、「メンタルヘルスの意識向上」と「心理的応急処置」を導入することを強く要請し：
- A P Rスカウト委員会に対し、各国連盟の「青少年プログラム方針」および「スカウティングにおける成人に関する方針」において、メンタルヘルスへの認識を盛り込むよう、各国スカウト組織を支援することを要請する。

07/22 YAMG コーディネーターフレームワークの見直し

スカウト会議は、

- 地域青年代表（R Y R）と彼らが代表する若者との間の効果的かつ効率的なコミュニケーションを可能にすることで、改訂されたYAMGコーディネーターの枠組みは、より多くの青少年が意思決定能力を開発し、地域レベルの異なる各国スカウト組織間の青少年の参加をより強化するものとなる。
- さらに、この関係者のコミュニケーション・リンケージは、若者の参加と意思決定に関して、各国スカウト組織間がよりアクセスしやすく、魅力的な関係のための決定的な導管として機能することになることを指摘する。
- A P Rスカウト委員会に対し、ヤングアダルトメンバーグループ（YAMG）コーディネーターの構造を見直し、適切であれば改訂することを推奨し：
- 適切であれば、改訂されたYAMGコーディネーターの枠組みは、以下の効果を持つものとし：
 1. より多くの青少年が意思決定能力を身につけられるよう、さらなる能力強化を行い、
 2. 地域レベルの様々な各国連盟の間で若者の参加を強化し、
 3. R Y Rと代表する若者たちとの間の効果的かつ効率的なコミュニケーションを確保すること。

- 2019年のAPRスカウト委員会でヤングアダルトメンバーズグループ（YAMG）が地域青少年代表（RYR）に名称変更されるのに伴い、適切であればYAMGコーディネーターを「RYRコーディネーター」と改名すること、および、
- RYRコーディネーターは、APRスカウトユースフォーラムに参加した青少年、または各国連盟が指名した18歳から26歳までの青少年（各国連盟がAPRスカウトユースフォーラムに参加しない場合）から選出することを要請する。

これは、2022-2025年の3カ年計画の開始時に実施され、3カ年計画の終了時までには再評価される必要がある。

08/22 APRスカウトムートの復活

スカウト会議は、

- 地域開発に関する活動を体験し、地域内の他のスカウトのことを知るきっかけをさらに提供する。
- スカウトのスキルと知識を統合し、再現可能な社会奉仕プロジェクトを通じて問題の解決策を提案することを目的としていることを認識する。
- 様々な社会奉仕プロジェクトを通じて、スカウトが国づくりや持続可能な目標にどのように貢献できるか、地域開発の祭典を紹介することに注目する。
- APRスカウト委員会に対し、APRスカウトムート（APRSM）を出来れば3年ごとに開催し、世界行事と重複しないよう一貫性を持たせて復活することを要請し：
- より多くの加盟連盟を結びつけるために、若い成人が地域の他のスカウトと交流できるように、地域開発イベントのショーケースとして開催するよう要請し：
- APRが「世界スカウト行事開催のためのWOSMガイドライン」を適宜採用し、必要に応じて修正することを強く推奨し、同地域が合計30の各国連盟で構成されていることを認識し：
- APRSMの開催地招致のための「世界スカウト行事招致のための行動規範」を採択する。次回のスカウトムートの招致は、各3カ年におけるAPRスカウト会議中に行うことができ、スカウトムートは順に次の3カ年に開催されるものとする。

これは、2022-2025年の3カ年で実施し、3カ年ごとに見直すべきである。

09/22 APRの既存の3小地域組織への支援拡大

スカウト会議は、

- APRは、地理的にインド洋、南シナ海、東シナ海、太平洋にまたがる非常に広い地域をカバーし、世界のスカウト人口の約2/3を有していることを認識し、APRは、1980年代後半から、小地域単位でプログラムや活動を組織することが運営上実行可能であると判断し、太平洋地域とインドにエリアコミッショナーなどのシステムを導入し、
- この現実を受け、APRは、1990年代の会議決議により、南太平洋小地域を正式に承認し、支援することに同意し、南太平洋スカウト連盟協議会（CSPSA）という名称で自主的に結成された。この小地域組織は、当初は少し休眠状態だったが、いくつかの資金提供や他のパートナーシップ、定期的な開催されるCSPSAのチーフコミッショナー集会を通じ、新しいイニシアチブに焦点を当てられた。さらに、CSPSAの会合にはマネージメントやその他のトレーニングコースが併設され、これらは定期的な開催された。これらの会議は持ち回りで開催され、技術的には異なる各国連盟が主催し、当時APR事務所と呼ばれていたAPRサポートセンターの管理・監督下におかれていた。CSPSAの集いは、マニラにあるAPRサポートセンターを通じて、技術的な面でもその他の面でも正式な支援を受け続け、
- 上記の発展を踏まえ、このCPSAの正式機能が継続する一方、他の小地域が出現し、この10年ほど運営されてきた。また、ASEAN地域協力協会（ASARC）と南アジア連盟（SAANSO）という2つの小地

域運営組織が、それぞれ独自の認可を受けている。これらの小地域組織は組織の活動を支援するため、独自に選出された事務局長と小地域の議長職を持ち、輪番制で業務を行う独自の仕組みを確立し、

- 上記を認識し、CSPSA、ASARC、SAANSO の 3 つの小地域組織は、共同で以下の議案を通し：

- APR スカウト委員会に以下の検討を呼びかける。
- これらの小地域をさらに強化するために、協調してあらゆる支援を行い、
- APR サポートセンターが、APR サポートセンターのすべての 3 年計画に、3 つの小地域と協議し、これら 3 つの小地域のニーズを特に対象としたプログラムや活動を含め：
- APR スカウト委員と APR サポートセンターのシニアスタッフが、可能な限りこれら 3 つの小地域で開催される小地域活動に参加できるようにし、
- APR サポートセンターが、APR 事務局長と APR スカウト委員長の 3 年報告書に、これら 3 つの小地域に拡大された介入と支援を強調する規定を設けること。

10/22 小委員会委員およびタスクフォース委員に対する各国連盟の推薦と承認

スカウト会議は、

- APR の各小委員会及びタスクフォースにおいて、各国スカウト連盟は、それぞれの連盟の中で誰が務めるべきかを決定する最適な立場にあることを認識し、
- 各国連盟の事前の推薦や承認を得ることなくメンバーを任命することは、各国連盟への冒涇とみなされ、地域委員会は各国連盟と対立する立場に立たされる可能性があると考え、

会議は、すべての小委員会およびタスクフォースメンバーについて、それぞれの連盟による推薦と承認を得た後に任命されることを推奨する。

11/22 APR スカウト章の着用と使用

スカウト会議は、

- APR スカウトロゴは、1950 年代、当時極東地域として知られていたときから、当地域で使用されていることに留意し、
- 私たちは地域の一員であることを誇りに思っており、APR スカウト委員もそうであるべきであることを認識し、
- すべての地域のスカウト委員会は、統一性を示すために世界スカウト章を着用すべきであるとする反論に留意し、
- 統一は素晴らしいが、多様性の中での統一こそがスカウトのユニークさであり、各国連盟が独自のユニフォームとスカウトロゴを持つことが許されている理由であると信じ、
- 私たちは一つの世界組織であることを認識し、地域ロゴの使用は強化されるべきであり、根絶させるべきではない。

会議は、APR スカウト章を APR スカウト委員が APR の制服の右ポケットに着用し続け、また APR スカウト章をすべての公式行事、行事、広報資料、通信に使用し続けることを推奨する。

12/22 地域委員と所属各国連盟の絆

スカウト会議は、

- 各国連盟で積極的に活動している APR スカウト委員を有することは、弱みではなく、強みとして

捉えられるべきであることを認識する。

- APRスカウト委員会が所属連盟に積極的に参加することは、APRスカウト委員会の活動にもつながるため、APRスカウト委員会の活動を抑制するのではなく、むしろ奨励すべきであると考えられる。

会議は、選出されたAPRスカウト委員が引き続き自身の所属国連盟と強い絆を維持し、所属国連盟における既存の役職や任命を解除することを求めないものとする。

13/22 地域スカウト委員のGSATへの関わり

スカウト会議は、

- APRの重要なリーダーとして、APRスカウト委員はGSATに積極的に参加し、各国連盟を直接知り、その強みと弱みを理解して、良い提言を行い、提言の実施をサポートする必要があることを考慮し、
- また、積極的に関わることで、APRスカウト委員は各国連盟間のベストプラクティスを収集し、共有することができることに留意し、

会議は、APRスカウト委員が各国スカウト連盟のGSAT評価に積極的に関与し、各国スカウト連盟における勧告の実施に支援することを推奨する。

14/22 セーフ・フロム・ハームの開発と導入に向けた継続的な支援

スカウト会議は、

- 決議 9/18「セーフ・フロム・ハーム」に対する進捗状況として、APRが2つの国連盟スカウト組織に対し、「セーフ・フロム・ハーム方針」構築を支援し、スタッフ、ボランティア、コンサルタントに「セーフ・フロム・ハーム」に関する幅広いトレーニングを提供したことに留意し、
- 2021年の世界スカウト会議で可決された、会員資格の承認に関する会則の改正を認め、「指導者の質、スカウティングに参加する児童・青少年・成人の安全な環境を確保するための方針と手順、指導者研修組織、加盟員規模、および資源により、自立した加盟員に適切なサービスを提供し、加盟員組織のすべての義務を引き受ける能力があることを証明するもの」とし、
- 世界スカウト会議決議 2021-D で、各国スカウト連盟は 2025 年までに、スカウトにおける子ども、若者、成人の安全な環境を確保するための方針と手続きを整備するよう与えられていることがWOSM加盟の条件となることを振り返り、
- APRが、各国スカウト連盟の居住国の規制法に準拠した青少年の安全な環境を確保するための「セーフ・フロム・ハーム方針」とその手順の実施を支援するために、各国スカウト連盟に的を絞った支援を提供することを要請する。
- 2025年までにAPRのすべてのスカウト連盟が「セーフ・フロム・ハーム方針」を導入することを強く要請する。
- APRがアクセス可能な会議を開催し、すべての加盟連盟が参加して「セーフ・フロム・ハーム」のベストプラクティスを学び、共有できるようにすることを要望する。

15/22 各国連盟におけるリスニングイヤー支援ネットワークの実施展開

スカウト会議は、

- 2011年の第22回世界スカウトジャンボリーで初めて導入され、その後2回の世界スカウトジャンボリーで実施された「リスニングイヤー」(LE)システムを認識すること。以前は心理的なサポートとしてキャンプで使用されていたが、LE支援ネットワークはスカウト活動の日々のベストプラクティ

イスやアプローチに拡大することが可能であり、

- 青少年や地域社会における心の健康の重要性が高まっていることを考慮し、
- COVID-19 の大流行によるメンタルヘルスの悪化に注意し、
- WOSMのセーフ・フロム・ハームモジュールトレーニングプログラム：S f Hモジュール「話すことから歩くことまで」および過去のワールドスカウトジャンボリーのリスニングイヤーベストプラクティスからのS. C. O. U. T-リスニングイヤーモデルのアプローチを認識し、
- APRスカウト委員会に対し、メンタルヘルスサポートの強化、メンタルヘルス意識の向上、WOSMのセーフ・フロム・ハームのアプローチの強化のため、各国連盟におけるリスニングイヤー（LE）サポートネットワークの開発を支援することを要請し：
- さらに、各国連盟における「リスニングイヤー（LE）」支援ネットワークは、スカウトのための安全な空間の実施を開始、支援、監督し、リスニングイヤー(LE)が専用のコミュニケーション手段を通じて話を聞き、アドバイスを提供するプラットフォームを提供することを含むことが推奨され：
- このネットワークは、心理的な応急処置の最初の窓口となり、さらに必要と判断された場合には、精神保健の専門家に相談することでサポートされる。

これは、第28回APRスカウト会議までに実施されるべきである。

16/22 APR計画 2022-2025 の採択

スカウト会議は、

- 会議決議 12/18 のポイント3にある「WOSMビジョン 2023 を達成するために、次期APR 3カ年プラン（2021-2024）を次期世界3カ年計画 2020-2023 と完全に整合させることを推奨する」ことを認識し、
- 2021年の第10回APRスカウトリーダーズサミットにおいて、世界3カ年計画 2021-2024を見直し、次期APR計画への意見を提供した後、各国連盟リーダーのAPR計画 2022-2025への貢献を認め、
- APR各小委員会がサミットの成果を検討し、APR計画の目標、KPI、アクションステップを起草したことを認識し、
- 第27回APRスカウト会議の会議決議の諸条項を確認し、APR計画を確定する前に対処し、
- さらに、第27回APRスカウト会議の参加者が、この計画案について議論し、追加提言を行う機会を得たことを認識し、

会議は、APR計画 2022-2025 を承認し、APRスカウト委員会が、会議分科会の議論の意見を含む第27回APRスカウト会議の各種会議決議で求められた措置を考慮し、また2022年3月15日までに各国連盟からの追加意見を検討するという条項の下で原則的にこれを承認する。

以 上